

中等教育学校の教育プログラム に対応した新築

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) の取り組みや高大連携の取り組みを
可能にした高機能な施設づくり

国立大学法人奈良女子大附属中等教育学校

学科等/中高一貫・普通科 クラス数・生徒数/9クラス・363人 建築主/国立大学法人奈良女子大学

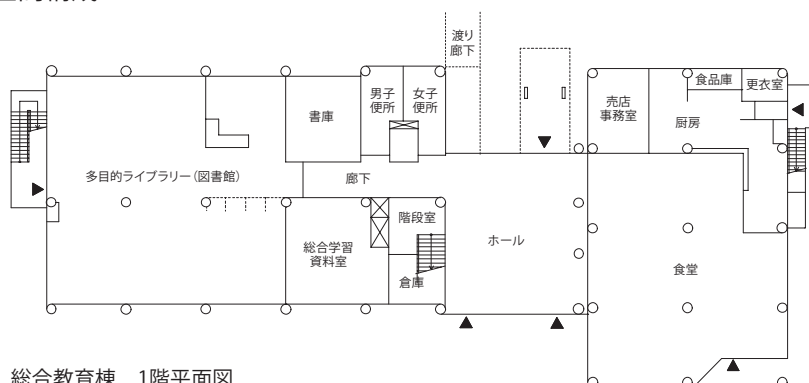
所在地/奈良県奈良市東紀寺町1-60-1 工事種別/新築 敷地面積/64,687㎡ 延床面積/16,518㎡ 竣工/2002年3月(総合教育棟)

計画・整備のねらい

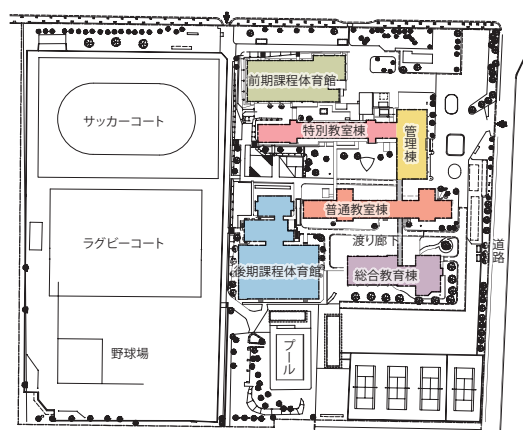
- LAN敷設などICT利用に対応
- 多様な学習内容・学習形態に対応できる多目的ホール、ゼミ室等の整備
- 先生や生徒同士の交流がスムーズにできる空間構成



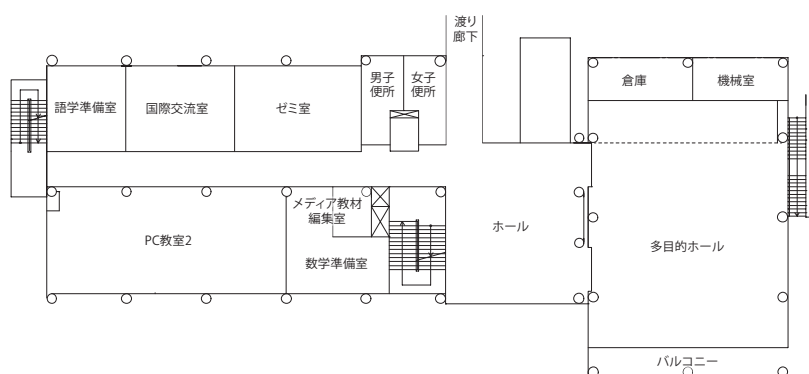
総合教育棟エントランス



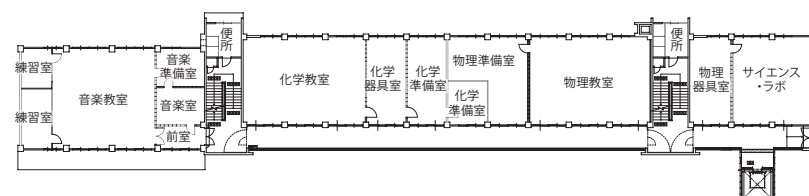
総合教育棟 1階平面図



配置図(3棟の校舎を渡り廊下で接続した配置)



総合教育棟 2階平面図



特別教室棟 2階平面図

■施設整備の工夫点

○高度なニーズにも柔軟に対応できる施設構成



サイエンス・ラボ。スーパーサイエンスハイスクール指定校として、サイエンス研究会のラボを設置し、生徒たちが放課後等に自由に活動できる。



高大連携ビデオ会議授業では、ビデオ会議システムを利用して遠隔授業を実施。

○発表、討論活動のためのしつらえ



多目的ホールでは各学年、各教科、総合学習等でICTを活用した発表学習を実施するほか、講演会や演奏会も行う。



メディア教室はグループ討論にも活用される。

○先生や生徒同士などの学習・交流空間



多目的ライブラリーには調べ学習、自習学習、総合学習等に活用できるように、情報コンセントと「NetBook」を設置。

体育館の観覧スペース。運動施設と一体的にミーティングルームや観覧スペースを設置。練習や試合の様子を観察して、活動計画や作戦等を話し合えるようにしている。



■教育効果のポイント

○多目的ライブラリーは明るく広くなり、気持ちの良い学習環境になった。また、LAN回線構築等コンピュータを使った情報検索ができるようになり、便利になった。